

「埼玉セブンの森」活動報告書及び活動計画書

【目次】

第1回	環境保全活動（2022年12月3日(土)）の報告・・・	P.2
第2回	環境保全活動（2023年4月8日(土)）の報告・・・	P.4
第3回	環境保全活動（2023年12月2日(土)）の報告・・・	P.6
	2024年度「埼玉セブンの森」活動計画書・・・・・・・・	P.8

【ご注意】

本資料は、外部組織との協議中の内容等は非表示としています。

第1回「埼玉セブンの森」環境保全活動（2022年12月3日(土)）の報告

- 11月9日(水)の「埼玉セブンの森」協定締結後初めてとなるセブン-イレブン記念財団並びに関係団体を主体とする環境保全プログラムを実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初の想定参加者数の約半数の参加となりました。
- 実施概要
 - ▷ 日 時：2022年12月3日（土）9:30～12:00
 - ▷ 場 所：太郎右衛門自然再生地（中池・河原草地/サクラソウ群落再生地/チガヤ草地(南側)/オギ群落）
 - ▷ 参加者：46名（セブン-イレブン加盟店20名、セブン-イレブン社員21名、セブン-イレブン記念財団5名(事務局等を含む)）
 - ▷ 内 容：サクラソウ群落再生地でヨシの運び出し（対象:大人）/河原草地でカワラナデシコの移植（対象:子ども）/自然再生地の学び（ガイドツアーとカヤネズミの球巣調査）/チガヤ草地（南側）のオギの掘り取りとオギ群落再生地への移植
- 対応者：堂本委員長、小川委員、荒木委員、運営事務局（5名）

【スケジュール】

時間	内容	
9:30	■ オリエンテーション ・開会挨拶 ・本日の予定説明 ・ラジオ体操	
9:45	■ ヨシの運び出し（大人による作業） ■ カワラナデシコ移植作業（子どもによる作業）	
10:20	■ 自然再生地の学び ・生物多様性について ・モニタリング体験（カヤネズミ営巣調査）	■ オギ掘り取り・移植作業 ・チガヤ草地のオギの掘り取り ・オギ群落再生地へのオギの移植
11:30	■ 看板披露および閉会式 ・看板設置作業 ・看板披露と記念撮影 ・表彰式 ・閉会挨拶 ・事務連絡	

【収支報告】

非表示

項目	活動の振り返り	今後の方向性
モニタリング体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ モニタリング体験として提案したカヤネズミの営巣調査では、参加者が新たな球巣を1つ発見し、自然再生上有効なデータとなった。 ・ また、動植物に関する知識を有しなくとも多数数によって有効となるモニタリングができることが確認できた。 ・ さらに、参加者も興味をもって取り組んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回（春季）もモニタリング調査をプログラムとして取り入れ、竹林におけるタヌキのため糞調査を提案していく。
プログラム全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各移動時間に想定より多く時間を要し、活動時間が短くなってしまった。 ・ 今回初の催しとして、セブン-イレブン記念財団の提案で活動開始前にラジオ体操を実施し、身体のウォーミングアップとしてだけでなく、参加者のアイスブレイクにもなっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は活動内容を詰め込み過ぎず、余裕をもって活動できるメニューと時間設定を検討していく。 ・ ラジオ体操は、次回の環境保全活動のほか、一般ボランティアが集う維持管理活動においても取り入れを考えていく。 ・ 「埼玉セブンの森」としての初の環境保全活動は、参加されたセブン-イレブン記念財団の担当者より好評をいただき、今後も、同規模での活動が維持できるよう、参加者の意欲喚起に向けて、環境保全の意義や効果を共有していく。

第1回「埼玉セブンの森」環境保全活動（2022年12月3日(土)）の報告

【実施状況】

作業前後

河原草地



作業後

非表示

オギ群落再生地



作業後

作業状況

非表示

非表示



ヨシの運び出し



オギの掘り取り



オギの移植



球巢

カヤネズミの球巢



看板設置



表彰式



集合写真

作業範囲

非表示

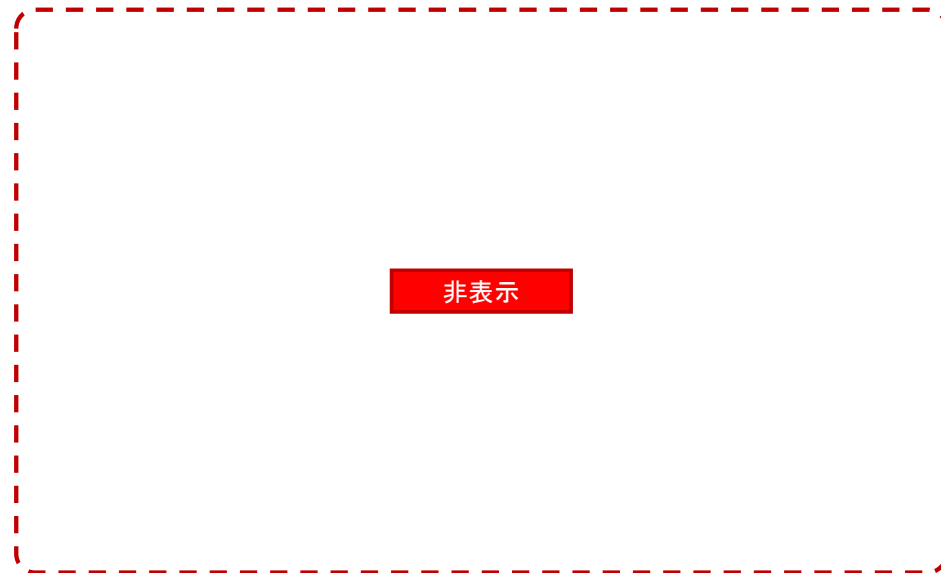
第2回「埼玉セブンの森」環境保全活動（2023年4月8日(土)）の報告

- 第2回「埼玉セブンの森」環境保全活動を実施しました。
- 実施概要
 - ▷ 日 時：2023年4月8日（土）9:30～12:00
 - ▷ 場 所：太郎右衛門自然再生地（中池・サクラソウ群落再生地（竹林）/オギ群落再生地）
 - ▷ 参加者：51名（セブン-イレブン加盟店21名、セブン-イレブン社員18名、セブン-イレブン記念財団2名(事務局等を含む)）
 - ▷ 内 容：自然再生地の学び（ガイドツアーと竹林でのタヌキのため糞探し）、サクラソウ群落再生地でのタケの伐採/オギ群落再生地でオギを被圧する植物の除草作業/サクラソウ群落再生地でのサクラソウ株の移植
- 対応者：堂本委員長、小川委員、荒木委員、運営事務局（5名）

【スケジュール】

時間	内容	
9:45	■ オリエンテーション ・開会挨拶 ・本日の予定説明 ・ラジオ体操	
10:00	■ モニタリング体験 ・活動説明 ・ため糞探し	■ 自然再生地の学び ・生物多様性について ・自然再生地について
10:30	■ 環境保全活動（タケの伐採） ・作業説明 ・作業	■ モニタリング体験 ・活動説明 ・ため糞探し
11:00	■ 自然再生地の学び ・生物多様性について ・自然再生地について	■ 環境保全活動（つる性植物の除去） ・作業説明 ・作業
11:30	■ サクラソウの移植 ・作業の説明 ・作業	
11:50	■ 閉会 ・記念撮影 ・表彰式 ・閉会挨拶 ・事務連絡	

【収支報告】



項目	活動の振り返り	今後の方向性
オギ群落再生地	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノイバラの伐採と、覆いかぶさっている枯れたつる性植物の除去をしていただいた。 ・ 後日確認したところ、被圧されていたオギの株が生長している様子が見られ、高い効果が得られたものと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降も維持管理のメニューとして継続していく。
サクラソウ群落再生地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹の伐採は、想定よりも作業が難しく、予定していた範囲を終わらせることはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業内容と活動時間、参加人数を吟味し、十分な活動ができるよう検討する必要がある。
モニタリング体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既知のもの以外の新たなため糞は見つけられなかったものの、キツネの糞を見つけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、多人数という利点を生かした活動を実施していくことが望ましいと考えられる。

第2回「埼玉セブンの森」環境保全活動（2023年4月8日(土)）の報告

【実施状況】

作業前後

オギ群落再生地



非表示

非表示

作業状況

非表示

非表示



作業範囲

非表示

第3回「埼玉セブンの森」環境保全活動（2023年12月2日(土)）の報告

- 第3回「埼玉セブンの森」環境保全活動を実施しました。
 - 実施概要
 - ▷ 日時：2023年12月2日（土）9:30～12:00
 - ▷ 場所：太郎右衛門自然再生地（中池・サクラソウ群落再生地/オギ群落再生地/オギ原）
 - ▷ 参加者：49名（セブン-イレブン加盟店25名、セブン-イレブン社員18名、セブン-イレブン記念財団2名(事務局等を含む)、一般参加者4名)
 - ▷ 内容：初参加者を対象とした学びの時間（中池保全エリアの案内）の実施/サクラソウ群落再生地での刈り取ったヨシの運び出しやマグワの芽の抜き取り/オギ原でのカヤネズミの生息状況調査（球巣探し）/オギ群落再生地に植樹した記念樹が夏場のつる性植物の繁茂による被圧で枯損していることをうけ、幼木約15株（クヌギ10株程度、エノキ2株、ゴマキ1株）を補植
- ※サクラソウ群落再生地でのヨシの運び出しにあたり、まず始めに代表者4名×3チームによる競争型のデモンストレーションを行い、参加者が作業内容や効率的な作業の仕方についてイメージがもつ機会を設けました。
- 対応者：堂本委員長、小川委員、荒木委員、宮川委員、運営事務局（4名）

【スケジュール】

時間	内容		
9:45	■ オリエンテーション ・開会挨拶 ・本日の予定説明 ・ラジオ体操		
10:00	■ 自然再生地の学び ・生物多様性について ・自然再生地について	■ マグワの芽の抜き取り （約10名）	■ 記念樹として補植する 幼木の掘り取り（約10名）
10:25	■ 環境保全活動 ・刈り取ったヨシの運び出し		
11:05	■ モニタリング体験 ・カヤネズミの球巣探し		
11:35	■ 記念樹の補植		
11:45	■ 閉会 ・記念撮影 ・表彰式 ・閉会挨拶 ・事務連絡		

【収支報告】

非表示

項目	活動の振り返り	今後の方向性
サクラソウ群落再生地	<ul style="list-style-type: none"> ・ マグワの芽の抜き取りは、葉が落ちているものが多く、見分けるのが困難であったが、参加者は熱心に違いを見比べコツを掴み、作業することができていた。 ・ ヨシの運び出しは、始めにデモンストレーションをすることで活動のイメージが付き、協力しながら作業を進めていた。結果として想定よりも10分早く作業を完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マグワの芽を見極めるのは難しい作業であったが、諦めることなく懸命に作業していただいた。本活動の参加者はやる気のある方が多く、高度な活動を盛り込むことでより充実感が芽生えるようである。 ・ ヨシの運び出しでは、デモンストレーションを行うことで活動のイメージをもたせ、ゴールを提示することで、参加者は協力して作業に従事することができていたように思う。引き続き、このような手法も取り入れつつ、プログラムを立案していく。
モニタリング体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落巢してはいたが、球巣を1つ見つけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、多人数という利点を生かした活動を実施していくことが望ましいと考えられる。
オギ群落再生地	<ul style="list-style-type: none"> ・ クヌギ10株程度、エノキ2株、ゴマキ1株を補植した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移植木が枯れないよう、特に夏場の維持管理方法を検討していく。

第3回「埼玉セブンの森」環境保全活動（2023年12月2日(土)）の報告

【実施状況】

作業前後

非表示

非表示

作業状況



マグワの芽の抜き取り



補植する樹木の掘り取り



刈ったヨシの運び出し



カヤネズミの球巣探し



感謝状の授与



集合写真

作業範囲

非表示

2024年度「埼玉セブンの森」活動計画

- 活動方針：2022年11月9日に「埼玉セブンの森」の協定を締結し、以降、維持管理活動を協働しています。多人数の参加が見込まれることから、維持管理活動の年間計画ならびに現地状況に応じた維持管理作業を中心に活動するとともに、第1回活動から実施しているカヤネズミの生息状況調査を継続的なモニタリングとして行います。
- 期待される効果：100名規模の多人数の参加が見込まれ、人手が必要な作業を進めることができます。また、セブン-イレブングループという大企業内で募集をかけることで広報効果が期待されます。さらに、関係者は家族での参加も見込まれることから、将来の担い手確保にもつながると考えられます。
- 目的：
 - ・サクラソウ群落再生地では、在来植物の発芽促進を目指した維持管理を行います。（ヨシや枯葉の除去）
 - ・竹林は一昨年度に開花/枯死しており、それを利用してつる性植物が繁茂し、安全面・景観面から管理が必要な状況となっているため、これらの伐採・除去を進めていきます。
 - ・オギ群落再生地では、カヤネズミが生息するオギ群落形成を目指した維持管理を行います。（オギの生長を被圧するつる性植物の除去）
 - ・オギ群落と河原草地の竹の幼木の伐採を行います。
 - ・荒川の自然環境と保全再生の大切さについて、自然再生地の取組状況の解説と自然散策を通して、楽しみながら学ぶ機会を提供します。
 - ・自然再生事業の目標種等の生息状況を把握するモニタリングの一環を行います。
- 日時：
 - ・第4回活動…2024年4月頃（3月30日（土）9:30～12:00を候補日として調整中）
 - ・第5回活動…2024年12月頃（11月30日（土）9:30～12:00を候補日として調整中）
- 内容：
 - ・第4回活動…オギ群落再生地でのつる性植物等の除去/竹林を覆うつる性植物の除去や竹の伐採/初参加者に向けたガイドツアー/タヌキのため糞調査
 - ・第5回活動…サクラソウ群落再生地のヨシの運び出し/竹林を覆うつる性植物の除去や竹の伐採/初参加者に向けたガイドツアー/カヤネズミの球巣調査

【活動場所】

非表示